

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	91932
事業名	ユニバーサル推進費					
評価担当課	所 属	政)政策企画部 ユニバ. 推進担			電話番号	011-211-2361
施策名	年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市は現状、高齢者人口の増加、支援を要する外国人市民の増加、男女の地位の平等感の偏り、地域意識の希薄化等の多様な課題を抱えており、これらの課題は絡み合い、複雑化・複合化している。また、昨今の社会情勢として価値観やライフスタイルが多様化していることを踏まえ、札幌市では、最上位計画である「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン(ビジョン編)」において、年齢、性別、国籍、民族、障がいの有無等を問わず、「誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会」(共生社会)の実現を目指していく旨を掲げた。
	事業内容(何を実施し)	「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン(戦略編)」に定める「ユニバーサル(共生)プロジェクト」を計画的かつ確実に遂行するため、ユニバーサル展開プログラムの策定検討を進めたほか(令和6年6月策定)、「(仮称)共生社会推進条例」の制定検討に着手するなど、市民・事業者との協働による共生社会の実現に向けた取組を推進した。 このほか、ユニバーサルに関するプロモーションを通じて、心のバリアフリーの推進に取り組んだほか、「Universal MaaS」プロジェクトを実施するANAグループと連携し、バリアフリー経路情報の発信等を行うことで、車いすユーザーはもとより、高齢者やベビーカーユーザー等の移動の円滑化につなげる取組を行った。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	「誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会(共生社会)」の実現
	他都市の状況	福岡市では、ユニバーサルデザインの理念に基づいた、誰もが思いやりを持ち、すべての人にやさしいまち「ユニバーサル都市・福岡」を掲げ、様々な取組を推進。また、鎌倉市、兵庫県等で条例制定事例あり。
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	12,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2 人工
令和5年度決算額	4,998 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2 人工
令和6年度予算額	24,000 千円	うち特定財源	7,000 千円	正規職員業務量	2 人工

指標	アウトプット活動指標1	セミナー受講者数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
						200	200
	↓						
	アウトカム成果指標1	心のバリアフリーの理解度				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		27%	30%	32.30%	35%	40%	45%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	成果指標については目標を達成しているが、より広く市民へ浸透するよう、既存の取組の工夫や新たな取組を実施予定。活動指標のセミナーは条例制定後の令和7年度から開始予定					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	「(仮称)共生社会推進条例」が制定された場合には各種プロモーションをより一層強化するほか、ユニバーサル関係施策の着実な遂行を図るため、ユニバーサル展開プログラムに基づき適切な進捗管理を行う。